学校番号	1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）クラフトデザインの学習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

普段の生活で興味を引く造形物を見かけることはありますか。
テーマに沿って、自分が思い描く立体を様々な材料で表現しよう。その際、形だけでなく色についても作品にどう影響するのかを学ぼう。
最初はスケッチで様々な形を表現し、着色してイメージを沸かせ、様々な材料で表現しよう。その際、糸鋸やカッターの使用方法を始め、材料の加工技術についても習得しよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
糸鋸やカッターの基本的な使い方を習得する。
材料の加工方法を習得する。
作品を丁寧に仕あげ、完成度が高いか。
【思考力、判断力、表現力等】
テーマに沿った課題を製作することができる
自分の作品について工夫したところを説明できる。
他人の作品の良いところを見つけることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
作業中の疑問などについて質問をし、自ら解決できるようになる。
妥協することなく課題を完成させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	糸鋸をはじめ製作に必要な工具の基本的な操作を習得する。 使用する材料の加工方法を理解する。 テーマに沿った課題を製作する。 技術的に完成度の高い課題を製作する。	プレゼンテーションによりお互いの作品を鑑賞する。 製作した課題を言語化できる。 他人が製作した課題の良いところを言語化し、自分の製作に取り入れることができる。	考えながら作業をしている。 粘り強く課題に取り組んでいる。 振り返りシートを丁寧に書いている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	造形基本・造形応用	※組木 ※木工でパズルを作製 ※プレゼンテーション	a:糸鋸の基本的な操作ができる。 自分でデザインを考えることができる。 完成度が高い作品に仕上がっている。 b:完成した課題について言語化し、プレゼンテーションができる。 c:考えながら製作している。 粘り強く製作できる。 他者の作品を見てよいところを自分の作品にいかすことができる。	基本的な課題 振り返りシート	基本的な課題 振り返りシート	取り組み 振り返りシート
2学期	造形基本・造形応用	※紙粘土で造形（抽象的な造形） ※樹脂で造形（抽象的な造形） ※スチレンボードで風景製作（具体的な造形） ※3DCAD でデザインした立体を3Dプリンターで造形 ※プレゼンテーション	a:カッターの基本的な操作ができる。 スチレンボードの加工方法を習得する。 紙粘土や樹脂の加工方法を習得する。 Inventor の操作方法を習得する。 自分でデザインを考えることができる。 完成度が高い作品に仕上がっている。 b:完成した課題について言語化し、プレゼンテーションができる。 c:考えながら製作している。 粘り強く製作できる。 他者の作品をみてよいところを自分の作品にいかすことができる。	基本的な課題 振り返りシート	基本的な課題 振り返りシート	取り組み 振り返りシート

3学期	造形応用	※スチレンボードで造形 （抽象的な造形） ※プレゼンテーション	a:カッターの基本的な操作を習得する。 スチレンボードの加工方法を理解する。 自分でデザインを考えることができる。 完成度が高い作品に仕上がっている。 b:完成した課題について言語化し、プレゼンテーションができる。 c:考えながら製作している。 粘り強く製作できる。 他者の作品を見てよいところを自分の作品にいかすことができる。	基本的な課題 振り返りシート	基本的な課題 振り返りシート	取り組み 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度